

入社式



令和四年度
スタート



壽光会だより

〒699-0811
出雲市湖陵町
差海 318-1
tel 0853-43-8955
fax 0853-43-0995

特別養護老人ホーム湖水苑
施設長 遠藤洋平

ヴィラ湖水苑
施設長 大國裕子

たいしや保育園
園長 石川佳照

春陽の候、皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
この度、特別養護老人ホーム湖水苑の施設長に就任いたしました、遠藤洋平です。よろしくお願い申し上げます。私にとりましては身にあまる重責ではありますが、入居者様の穏やかな生活を護るために、職員一同と連携を図りながら、より良いサービスが提供できる様、努力してまいります。また、地域の皆様との繋がりを大切にし、地域に根差した事業所を目指して行きたいと思っております。
さて、特別養護老人ホーム湖水苑が開設されて、二十二年目になり、この間、社会福祉法人壽光会にも様々な福祉事業所が増えましました。湖陵町の皆様はもろこのこと、幅広い地域の皆様にもご利用頂き、これも偏に地域の皆様、関係者の皆様のご理解、ご協力があつたの事と思っております。
今後、皆様方には引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

春暖の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃からヴィラ湖水苑へのご支援・ご協力を承り厚く御礼申し上げます。
一昨年よりコロナ感染症の拡大をうけて、私達は今までと違った生活様式となり今まで当たり前に行われていたことができなくなりましました。この変化を機会と捉えて入居者様が楽しいと思える一日を工夫していくことになりました。
職員の間で、私達は今までと違った生活様式となり今まで当たり前に行われていたことができなくなりましました。この変化を機会と捉えて入居者様が楽しいと思える一日を工夫していくことになりました。
職員の間で、私達は今までと違った生活様式となり今まで当たり前に行われていたことができなくなりましました。この変化を機会と捉えて入居者様が楽しいと思える一日を工夫していくことになりました。

たいしや保育園では、めざす子ども像の一つに「ふるさとを愛する子ども」があります。
大社町立時代に地域の方より「歳徳神」と記された高さ二m、幅五十cmの吉兆幡を寄贈され、以後保存・展示をしてきました。地域の方から一層の活用を望む声があり、平成二十七年に「子ども吉兆さん」を企画し、以後毎年の恒例行事となりました。旧暦の正月に年長児の男の子が番内の衣装を身にまとい、女の子が太鼓でお囃子をたて、年中児が大太鼓・年少児が吉兆幡をひきます。
たいしや保育園と大社幼稚園が子ども吉兆、大社小学校が大社神謡を習い、大社中学校が十五番目の吉兆を行うなど、各年代で地域の伝統行事にふれることにより、自分たちが生まれ育った郷土を愛する子どもになってもらいたいものです。
来年こそ、規模を縮小しないで、今までのような活動ができることを祈念します。



新入職員紹介



半田厚子
グループホーム湖水苑
介護職員



佐々木裕介
特別養護老人ホーム湖水苑
介護職員



杉谷香音
たいしや保育園
保育士



石橋朱香
たいしや保育園
保育士



佐々木沙彩
たいしや保育園
保育士

求める人物像

- お年寄りや子どもが好きな方
- 笑顔が素敵な方
- 向上心が旺盛な方
- 何事にも前向きな方
- お話が好きな方

この中のどれか1つでも当てはまれば
応募可能です
職員募集中

人事異動



佐々木政俊
グループホーム湖水苑
管理者



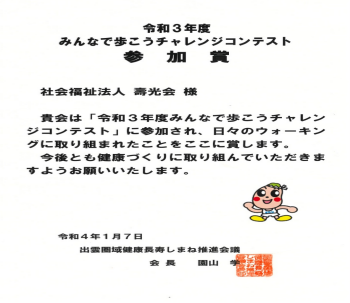
湯村絹誉
特別養護老人ホーム湖水苑
副施設長



遠藤洋平
特別養護老人ホーム湖水苑
施設長

みんなで歩こうチャレンジコンテスト

職員11名が、出雲圏域健康長寿しまね推進会議主催の「令和3年度みんなで歩こうチャレンジコンテスト」に参加しました。参加者からは、短時間でも歩くように努めたり、車に乗らない日をつくり、歩数計を見ることで楽しくなり、時間があれば歩くようになったとの感想がありました。これからも、毎日少しでも多く運動するように意識して、健康づくりに励みたいと思います。



社会福祉法人壽光会 湖水苑本部
TEL0853-43-8955 FAX0853-43-0995

〒699-0811 出雲市湖陵町差海318番地1
ホームページ <http://jukokai.jp/>



*特別養護老人ホーム湖水苑 TEL43-8955
*グループホーム湖水苑 TEL43-0032
*たいしや保育園 TEL53-2423

*ケアサポート相生 TEL24-7733
*サービス付き高齢者向け住宅ヴィラ湖水苑 TEL43-3950

ヴィラ湖水苑

節分 豆まき



2月3日の節分に、昼食には巻き寿司を食べ、午後から豆まきを行いました。赤鬼と青鬼めがけて、全力で豆をまかれる方、優しくまかれる方など様々でした。「鬼は外！福は内！」と大きな声が響きました。コロナ禍で思うように面会や外出ができない中、皆さんの気分転換になり、笑い声であふれていました。

習字 (立春大吉)



2月4日に、立春大吉を習字で書きました。立春大吉とは立春に書く厄除けの文字です。皆さん1年間厄災が起こらないように願いを込めて書かれていました。普段は習字を書かない職員も入居者様と一緒に取り組みました。

糸を使った工作



3月2日に、糸を使った工作を行いました。いつも端切れの布を提供して下さる三国ソーイング様から、ミシン用の糸をたくさんいただきました。その糸を使い、入居者様と一緒にお雛様作りをしました。綺麗な色の糸で、お雛様の衣装にピッタリでした。

グループホーム湖水苑

節分会



2月2日にグループホーム湖水苑とグループホーム湖水苑Ⅱ合同で、節分会を行いました。若手職員が鬼の仮面を被り、皆様に豆を投げてもらい楽しんで頂きました。豆まき後は、お茶会を開き、皆様に抹茶と和菓子で楽しんで頂きました。

ケアサポート相生

春の訪れ



ベテラン主婦たちが何とも手際よく、ふきのとうの葉やへたを取り、つくしもあたまと袴をあつという間にはぎとられました。午後のレクリエーションの後、ふきのとうは天ぷらと露味噌煮に変身、つくしも佃煮に姿を変え、桜茶と共に皆さんのお腹と心を満たしてくれました。

体操



皆さんの今もっておられる機能の維持・向上を図り、これからも住み慣れた自宅での暮らしを継続していただけるよう、午前中は機能訓練のための体操に積極的に取り組んでいただいています。ストレッチやボール体操、下肢筋力アップや握力アップに特化した体操など、工夫を凝らしながら、皆さん真剣な表情で日々取り組んでおられます。

特別養護老人ホーム湖水苑

お正月の様子



明けましておめでとうございます。皆さんと一緒に新年を迎えられた事に感謝し、お祝いいたしました。お手玉・コマ回し・福笑いなど正月遊びを、「懐かしい。」と会話を弾ませておられました。ノンアルコールではありますが、お神酒や梅酒を一口頂かれました。普段とは違う、年頭だからこその笑顔がたくさんあふれておられる1枚を撮ることができました。

出雲商業高校と出雲農林高校にて地域企業ガイダンス



3月7日・16日に、出雲商業高校と出雲農林高校の1・2年生対象の地域企業ガイダンスに参加しました。当法人が地域でどのような役割を行い、どのような仕事を行っているのか、やりがいを含め生徒さんにお伝えしました。説明中も熱心に耳を傾けてくださり、終わった後も相談してくれる熱心な生徒さんもいて温かみのある企業ガイダンスとなりました。

福祉車両 (リフト車) 納車



3月18日、これまで皆様からいただいた寄付金によりトヨタハイエースの福祉車両 (リフト車) を購入させていただきました。車いすやリクライニング式車いすが2台入る仕様です。通院やコロナが明けた際には外出行事等、有効に活用させていただきます。大変ありがとうございました。

たいしゃ保育園

体操教室



3月1日に、ぱんだ・ぞう組が、今年度の最後の体操教室で、初めてジョイナススポーツクラブに出かけました。広い教室の中にはたくさんのはじめて見る用具があり、子どもたちは嬉しくて大興奮でした。トランポリンやボルタリングなど普段の保育園では経験できない器具を使って、たくさんからだを動かして楽しみました。

えにし森 (鹿蔵山) オープニングセレモニー



3月9日に、ぱんだ・ぞう組が、えにし森 (鹿蔵山) オープニングセレモニーに参加しました。えにし森 (鹿蔵山) とは、大社小学校の裏山にあり地主さんから土地提供をいただいで、大社小学校・大社幼稚園・たいしゃ保育園の遊び場でもあります。このたび自然公園としてリニューアルされ、東屋を建てていただきました。鹿蔵山プロジェクトの皆様にも草刈りなどの手入れをしていただいでおり、子どもたちがのびのびと自然活動ができることに感謝します。

修了式



3月19日に、修了式を行いました。小さかったみんなが、友だちと一緒にたくさんの経験をする中で心も体も強くたくましくなり、そして思いやりのある子どもたちに育ってくれました。22名の堂々とした姿を見ると、保育園で学んだすべてのことが、これからの新しい一歩を支える力になると信じています。